



消防庁から配備された小型救助車＝玖珠町



日田玖珠広域消防組合

山岳救助隊が発足

【日田・玖珠・九重】日田玖珠広域消防組合（岩里安徳消防長）の山岳救助隊が25日、発足した。登山やトレッキングの愛好者が増え、管内にあるくじゅう連山や釈迦岳は人気を集めている。冬山遭難などへの対応を強化するため、救助に特化した部隊を約2年かけて育成した。県内では竹田市に次いで2例目。

玖珠町大隈の玖珠消防署で発足式があり、岩里消防長、組合管理者の原田啓介、日田市長があいさつ。岩里消防長が、厳しい訓練を終えた15人に任命書を手渡した。初代隊長となった太田道治消防司令（50）は「玖珠消防署Ⅱが「今後も訓練に励み、厳しい状況下でも任務を遂行します」と決意を述べた。

小型車配備 遭難、災害対応を強化



決意を述べる山岳救助隊の太田道治隊長

発足に向けて、隊員は管内の山々に登り、登山道や電波の状況、救助活動をする際の注意点を確認。ヘリコプターと連動する救助など地道な訓練を重ねた。組合も必要な資機材を計画的にそろえた。

この日は、緊急消防援助隊の対象車両として消防庁から全国に先駆けて配備された小型救助車1台の受領報告もあった。悪路での走行性能に優れ、山岳救助や災害対応のほか、可搬ポンプを搭載することで林野火災などでも活用できるという。

同組合警防課の大口憲課長（51）は「近年、土砂災害や山岳遭難が多発し、管内でも被害が出ている。新たに発足した救助隊、新たな資機材を活用し、住民の安心・安全な暮らしを守っていきたい」と話した。（宮家大輔）

〔問①〕日田玖珠広域消防組合が発足した部隊はなんですか。（ **山岳救助隊** ）

〔問②〕①と同じ部隊は県内ではどの市町村にありますか。（ **竹田市** ）

〔問③〕部隊の発足に向けて、隊員が重ねた地道な訓練にはどのようなものがありましたか。記事から全部書き抜きましょう。

管内の山々に登り、登山道や電波の状況、救助活動をする際の注意点の確認。

ヘリコプターと連動する救助。

〔問④〕登山で遭難しないためにどのようなことが大切だと思いますか。

※自由記述